

富山市教育委員会会議録

令和5年7月定例会

1 日 時 令和5年7月25日(火曜日)

午後 1時30分 開会

午後 3時20分 閉会

2 場 所 Toyama Sakura ビル5階 中会議室

3 出席委員 教育長 宮口克志
委員 若林啓介
委員 藤井久丈
委員 高田健
委員 石動瑞代

4 説明のために出席した者

事務局長	砂田友和
事務局次長(総務・社会教育担当)	古西達也
事務局次長(学校教育担当)・教育センター所長	竹脇孝志
教育総務課長	青山哲也
学校再編推進課長	山口雅之
学校施設課長	高瀬雅基
学校教育課長	福満弘信
学校保健課長	由水正恵
生涯学習課長	加藤孝一
教育センター所長代理	荒瀬誠
教育行政センター所長	片山尚之
市民学習センター次長	寺島優子
図書館長	越野伸二
郷土博物館長	坂森幹浩

5 職務のため会議に出席した事務局職員

教育総務課主幹	仙石正明
教育総務課長代理(管理係長)	塚本紘己
教育総務課主査	渡邊藍子
教育総務課主任	廣岡洋子

6 傍聴人数 0人

7 付議案件

(1) 議 案

- 議案第40号 教育委員会事務管理執行状況点検評価報告書(案)について
議案第41号 富山市野外教育活動センターの指定管理者の名称の変更について
議案第42号 富山市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
議案第43号 富山市教育委員会いじめ問題対策委員会委員の委嘱について

(2) 報告事項

- 報告事項19 学校選択制について

(3) その他

- その他11 第39回薬師岳美化行進について
その他12 富山市郷土博物館企画展「売薬版画一葉都富山の浮世絵文化をさぐる」
その他13 富山市佐藤記念美術館企画展「日本画の四季」

8 会議の要旨

【開会】

[教育長] 開会を宣言する。
本日は、委員が全員出席しているため、会議は成立している。

【前回会議録について】

[教育長] 6月教育委員会定例会会議録について意見等を求める。
[若林委員] 4ページの下から9行目に、「諸般の県議会議員選挙」とあるが、「先般の県議会議員選挙」に、訂正してもらいたい。
[教育長] その他、意見等ないか。
[各委員] 意見なし。

[教育長] 「先般の県議会議員選挙」に修正することにより、前回会議録を承認する。

【非公開案件について】

[教育長] 議案第42号、43号は、附属機関の委員の委嘱に関する案件である。よって、非公開としたいが、よろしいか。

[各委員] 異議なし。

[教育長] 承認を得られたので、議案第42号、43号については非公開とし、その他13の後に行うこととする。

【議案第40号】

[教育長] 議案第40号について事務局から説明を求める。

[教育総務課長外] (議案第40号、概要及び基本施策1から3について説明)

[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。

[高田委員] 28ページにある生活習慣病の予防のすこやか検診は、約9割の児童・生徒が受診しているが、平日の夕方や土曜日に、自ら受診しているのか。それとも、学校内で検診を行っているのか。

[学校保健課長] 学校内で検診を行っている。

[高田委員] 学校内で在校中に行われている検診を1割の児童・生徒が受けない理由は何か。

[学校保健課長] すこやか検診を受診できなかった理由については、調査中である。

[高田委員] 「要医療」と判断された児童・生徒が、医療機関に掛かった割合の数字は把握しているのか。

[学校保健課長] 追跡調査については、手元に資料がない。

[高田委員] 調べれば分かるということか。

[学校保健課長] 「要医療」などになった場合、対象年齢とは違ってくるが、翌年に改めて検診を行い、数値を確認している。対象時が小学校4年生であれば翌年の5年生時と、その翌年の6年生時、中学校1年生であれば翌年の中学校2年生時等に、引き続き行う形をとっている。

[高田委員] 医療機関を受診したかどうかは、分からないということか。

[学校保健課長] すこやか検診の受診の際に、昨年度はどうだったかを問診し、調査としている。

[高田委員] 例えば、体のどこかが悪いので、医療機関で診てもらった方がよいと言われた子どもが、医療機関を受診したと学校に報告する義務

もなく、学校側から医療機関に行ったかどうかを確認することもないということか。

[学校保健課長] 学校側からの確認については、学校により行っているところもあると思う。

[高田委員] 「要医療」と判断されたときは、医療機関へ行った方がよい。医療機関を受診したかどうかの確認については、学校ごとの判断ではなく、できれば共通の方法をとった方がよいと思う。私の職場でも、健康診断を受けた結果、検査を要する問題が発見されたが、受診のために会社を休まなければならないという理由で、医療機関に行かない人もいる。その結果、ひとりの方は、残念ながら重い病気が見つかったことがあったので、必ず医療機関へ掛かるように指導する方向でお願いしたい。

[学校保健課長] 説明が不足していたので、補足する。
すこやか検診で問題が発見された児童・生徒に対しては、特定保健指導に該当する「すこやか教室」を行っている。その中で、医療機関への受診や経過について、フォローアップをしている。ただ、その後については、さきほど述べた通りである。

[藤井委員] すこやか検診の結果については、一定の基準に基づいて確認し、受診が必要だということや、指導だけでよいことなどを判断しているのか。学校医は携わっているのか。

[学校保健課長] すこやか検診は、医師会に委託している。統一の基準によって検診結果を点数化し、「要医療」、「経過観察」や「生活指導」という判定を行っている。

[石動委員] 生活習慣病の予防の取組み評価について、「C（予定よりやや遅れている）」としているが、基準数値と目標数値を基に、令和4年度の評価をしたのか。それとも、昨年度との比較で考えた評価なのか。基準数値は割と高めの設定で、目標数値はさらに高値に設定されている一方で、令和3年度と令和4年度の実績数値は基準数値よりも低い。そのようなことを踏まえ、「D（予定より大幅に遅れている）」ではなく、「C（予定よりやや遅れている）」と評価した理由を教えてもらいたい。

[学校保健課長] 評価については、総合的に判断している。指摘されたように、目標数値に達していないこと、令和3年度に比べて令和4年度の実績が落ち込んでいること、それ以前の数値から見ても実績が上がっている傾向にはないということを総合的に判断し、予定よりやや遅れていると判断した。

[教育長] その他の観点から、ご質問等あるか。

[若林委員] 10ページの、基本施策の評価及び目標指標の達成状況一覧につ

- いて、令和3年度と比較して変化しているのか。令和3年度の情報をホームページで見たが、あまり変わっていない印象を受けた。
- [教育総務課長] 令和3年度の点検評価と比較して、評価が異なる項目を挙げると、10ページに記載されている評価の部分で、昨年度と異なっているものは、基本施策「15 学校・家庭・地域との連携」である。今年度の評価は、「やや遅れている」になっているが、昨年度は「概ね順調」であった。評価については以上である。次に、指標の達成状況については、2つの項目が昨年度と異なる評価になっている。1つ目は、基本施策「3 健やかな体の育成」の目標指標「学校給食における地場産野菜等の品目数」である。令和3年度はC評価だったが、令和4年度はB評価であり、改善傾向にある。2つ目は、基本施策「15 学校・家庭・地域との連携」の目標指標「朝食を摂る子どもの割合」である。これについては、令和3年度はB評価だったが、令和4年度はC評価となっており、悪化している方向である。
- [若林委員] 悪化している施策について、どのようにしていくのかをもう少し丁寧に触れた方がよいのではないかと。指標が変わっているのかは見えていないが、本来的には改善するために取組みをしているはずなので、悪くなっているとすると、そこは重点的にもう少し丁寧に書き込むことが必要なのではないかと思うが、それについてはどうか。
- [教育総務課長] その点については、6月教育委員会定例会でも少し説明したが、今年度に、令和6年度から令和10年度までの計画期間となる第3期教育振興基本計画を策定中である。取組みが遅れているものや、令和3年度から悪化しているものなど、思うように進んでいないものについては、第3期教育振興基本計画において、さらに強化して取り組む内容へと見直すことができればよいと考えている。
- [教育長] 後ほど、全体を通して質問等の時間を設けることとする。引き続き、議案第40号について事務局から説明を求める。
- [学校教育課長外] (議案第40号、基本施策4から7について説明)
- [教育長] ここまでについて、質問等あるか。
- [藤井委員] 37ページのとやま教師塾事業について、参加するのは指定した教員か、それとも経験が浅い教員か。どのような立場の教員なのか。実績項目だけを見ると、教育をどう考えるか、どうしていくのかという内容よりも、教員同士がコミュニケーションを図ったり、世間一般のことを知ったりする機会だという印象がある。とやま教師塾の方向性は、以前から変わっていないのか。
- [学校教育課長] 年齢はそれぞれだが、今後、ミドルリーダーとして学校を担ってい

- く、中堅教員の自主研修として行っている。
- [藤井委員] コミュニケーションを深めることについては、新型コロナウイルス感染症が流行していた時期を考えると、今はいいかもしれないが、イェナプラン教育など、さまざまな教育を考えている時期なので、「中堅教員として教育をどう考えていくか」ということについての内容が、もう少しあってもよいのではないか。また、受講人数が14名というのは、少ない気がする。以前はもう少し多くなかったか。
- [学校教育課長] 参加人数については、令和3年度が21名であり、減少している状況である。内容については、最初に富山市のことを理解し、それを教育に活かしてもらいたいという思いで開催している。また、とやま教師塾とは別に、ミドルリーダー研修会を設けており、その内容は、中堅教員として、若い世代へどう指導していくのかというものである。とやま教師塾は、ミドルリーダー研修会と調整をしながら進めているが、内容については、毎年準備して進めていくので、今回の意見を参考にし、来年度以降に活かしていきたいと思う。
- [藤井委員] この事業の評価の部分には、ミドルリーダー研修会のことは含まれていないという理解でよいか。
- [学校教育課長] 研修については、36ページ教職員研修事業に記載している。ミドルリーダー研修は、管理職ではない教員を対象にしているが、初任校長研修会、初任教頭研修会と同じ、管理職研修会の一部として位置付けている。教員のキャリアに応じて実施する年次研修の他に、今後、管理職になってもらいたいというねらいがあり、法令なども研修している。
- [藤井委員] とやま教師塾は、性質が違うということが理解できた。
- [教育長] 補足して説明する。管理職研修では教育法規を勉強する研修会がある。また、その他に、いま富山市が大事にしようとしている主体的な子どもたちを育てるための主体的な学び研修、イェナプランの要素を取り入れた研修、ICTを活用した研修など、ニーズに応じた施策・研修を実施している。とやま教師塾は、コロナ禍で参加人数は減少していたが、市長の話から開始し、富山市の施策や、教員が意外と知らない富山市の魅力などを知ってもらいたいねらいがある。今年度も、馬場家や森家、富山大学のヘルン文庫へ行ってきた。富山市の魅力を教員に知ってもらい、それを子どもたちに伝えていくという、他の研修とは少し違う取り組みをしている。さまざまなニーズに応じた研修を実施しており、その中の一つがとやま教師塾である。
- [藤井委員] よく理解できた。

- [石動委員] 42ページ、43ページのICTの活用という取組みについて、さまざまな研修が記載されている。情報モラル教育に関する研修について、先ほどの説明では、子ども向けの情報モラル教育を確実にするための研修という気がする。今は情報化社会なので、学校が取り扱う個人情報是非常に多い。教員ひとりひとりの情報リテラシーについての研修は行われているのか。また今後行われるのか。
- [教長センター所長代理] 情報リテラシーを単独で扱っている研修はないが、それぞれの研修会において、必ずその要素を入れて研修している。年次により扱う用語が違ってくるため、このように行っているが、ご指摘のとおり、情報リテラシーそのものをしっかり学ぶ場も必要であると考えているので、今後の研修に活かしていきたい。
- [石動委員] 私も大学教員なので、毎年、個人のインターネット研修がある。個人情報とはなにか、どこまでが個人情報になるのかという、分かっていたようで分かっていないようなことを、ひとりひとりがしっかり認識しなければならないと思う。ぜひ取組んでもらえるようお願いしたい。
- [教育長] その他、質問等あるか。
- [各委員] 質問等なし。
- [教育長] 引き続き、議案第40号について事務局から説明を求める。
- [学校施設課長外] (議案第40号、基本施策13について説明)
- [教育長] ここまでについて、質問等あるか。
- [若林委員] 安易に「安心・安全」と言っているが、本当は「安全・安心」ではないかと思う。安全だから安心なのであって、安心だから安全ではない。学校は、まず安全な場所でなければならず、そこに居るから安心を感じることができる。慣用句的に、「安心・安全」と使っているので仕方がないと思うが、この言葉は大切なので、そのまま安易に使ってもらいたくないという思いがある。
- [教育長] 心の面でいうと、安全だからといって、100パーセント必ず安心できるとも言えないが、今後検討はしていく。
- [教育長] 引き続き、議案第40号について事務局から説明を求める。
- [図書館長外] (議案第40号、基本施策14から18について説明)
- [教育長] ここまでについて、質問等あるか。
- [若林委員] 富山市ホームページの点検評価の掲載箇所に、評価する欄があったと思うが、何か意見はあったのか。また、91ページの昨年度の学識経験者の意見について、意見聴取の際に、頂いた意見に対して、改善箇所等が回答できればよいのではないか。富山市教育委員会としての今後の対応や、資料のどこを見てもらえばよいのかなどをお答えできれば、より丁寧なのではないかと思う。

- [教育長] 全体を通して、その他質問等あるか。
- [石動委員] 5 6 ページの特別支援教室の充実について、特別支援教育コーディネーター研修会が行われているが、スクールサポーターとの連携や、スクールサポーターの質の向上を図るための研修はどうなっているのか。
- [学校教育課長] 特別支援コーディネーターは、特別支援級の子どもたちだけではなく、通常級においても支援を必要とする子どもたちの様子を見守り、その情報を校内で共有するための会議を開催するなど、学校において、特別支援に関する業務を中心的に担っているため、その業務について研修を行っている。スクールサポーターは、通常級で配慮を要する子どもたちに適切な支援をするため、4 時間単位で学校現場に配置しており、担任教員の学習指導の中で、副次的に個別の指導をする立場である。可能な範囲で学校での研修に参加しており、特に担任教員とのコミュニケーションや連携を大事にしながら進めている。
- [石動委員] 特別支援は、はっきりとした区切りを付けられないので、スクールサポーターは大変だと思う。
- [藤井委員] 7 3 ページの家庭での食習慣確立への支援について、目標指標が、朝食を摂る子どもの割合だが、朝食に限らず、親と一緒に食事をすることが必要だと思う。朝食を摂ったとしても、子どもがひとりで食べたり、学校へ持参して食べたりすることなどが、起きてくる可能性がある。ひとりで食べている割合や親と一緒に食べている割合など、朝食を摂っているかどうかではなく、食事の状況がどうなのかも分かればよいのではないかと思う。親と話をすることが友達との関係につながるのではないかと思う。
- [学校保健課長] 7 3 ページの今後の方向性に、「家庭における健全な食習慣の確立についての啓発」と記載しているが、この働きかけでは、給食だよりなどの配布だけではなく、学校での食育活動への保護者参加や、共食への呼びかけなどの活動も行っている。指摘された点については、今後、検討していきたいと考えている。
- [教育長] 議案第 4 0 号全体を通して、意見等あるか。
- [各委員] 意見等なし。
- [教育長] 議案第 4 0 号について、委員からの指摘部分について修正・追加等したもので学識経験者の知見活用を実施するものとし、可決した。

【議案第 4 1 号】

- [教育長] 議案第 4 1 号について事務局から説明を求める。
[学校教育課長] (議案第 4 1 号について説明)
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
[各委員] 質問等なし。
[教育長] 採決を行う。議案第 4 1 号について、異議があるか。
[各委員] 異議なし。
[教育長] 異議なしと認める。よって議案第 4 1 号については原案どおり可決した。

【報告事項 1 9】

- [教育長] 報告事項 1 9 について事務局から説明を求める。
[学校教育課長] (報告事項 1 9 について説明)
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
[各委員] 質問等なし。

【その他 1 1 ~ 1 3】

- [教育長] その他 1 1 ~ 1 3 について事務局から説明を求める。
[教育行政センター所長] (その他 1 1 について説明)
[郷土博物館長] (その他 1 2, 1 3 について説明)
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
[各委員] 質問等なし。

- [教育長] 以上をもって公開案件に係る議事は終了したが、その他、質問等はあるか。
[各委員] 質問等なし。
[教育長] 非公開案件に移る。傍聴、マスコミの方はご退席願う。

《以下、非公開事項のため概要のみを記載する》

【議案第42号、43号】※非公開案件

[教育長] (議案第42号、43号について事務局から説明を求める。)
[学校教育課長] (議案第42号、43号について説明する。)
[教育長] (議案第42号、43号についての採決について、各委員に諮る。)
[各委員] (議案第42号、43号について同意する。)
[教育長] (議案第42号、43号について、原案のとおり可決したことを報告する。)

[教育長] 以上をもって本日の会議は終了したが、その他、質問はあるか。
[各委員] 質問等なし。

【閉会】

[教育長] 閉会を宣言する。